

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 施設名   | ピノキオ幼児舎 阿佐谷北保育園 |
| 法人名   | 株式会社 ピノコーポレーション |
| 法人所在地 | 杉並区阿佐谷北6-26-13  |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

木

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

木の温もりのある園舎を活かして、クラスの保育環境や玩具も木製のを多く取り入れていきたいと考え『木』をテーマとした。特に0歳児クラスではプラスチック製の玩具よりも、触り心地が良く温かみのある木の玩具の方を好み、手を伸ばす姿があった。またデザインがシンプルなので、その分子どもたちは色々と工夫をし、創造力を高めていくことに繋がっていくと考えた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年4月～ 木の玩具の検討をする。

令和7年6月～ 玩具の出し方・進め方・記録の仕方を話し合う。

令和7年9月～ 子どもの発達に合った玩具や興味のある玩具で、主体的に遊べるよう環境を整える。

令和8年3月 振り返りをする。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・木の玩具を置くスペースの確保や棚の設置をした。
- ・個々の発達や興味に沿った玩具を保育室に置き、遊びに集中できるよう柵などでコーナーを作った。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・0・1歳児はつまむ・落とす・転がす・積み上げる等、手指を使った遊びを楽しむ。
- ・2～4歳児は積み木を使って創造力豊かに遊ぶ。
- ・5歳児は“キューボロ”を使ってビー玉が転がる道作りをする。スピードをいかに維持するかや、どこでビー玉を落とすかなどを友だち同士で話し合いながら遊ぶ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

保育室に木の玩具を設定しておく、子ども達はすぐに新しい木の玩具に興味を持ち、嬉しそうに遊び始めていた。2～4歳児クラスで用意した積み木では、家・動物・ロボットなど様々なものに見立てて遊ぶ姿がみられた。積み木の量も沢山あったことで、友達同士で発想を膨らませ、「〇〇も作ろう!」と話しながらやりとりをしていた。また、保育者が複雑な組み方をして置いておくと、試行錯誤しながら真似をしてやってみようとする姿がみられた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

園にあったプラスチック製のブロックは、作ると壊すのが嫌になりずっと同じ形のままで遊んでいる子が多かった。今回、積み木を取り入れると繰り返し遊んでいくうちに崩れてもすぐに作り直せることを知り、更に積み木を追加させることで新たなものに変化していく楽しさも感じているようだった。また、木の温もり・匂い・色・音などで五感を育み、友達と一緒に試行錯誤したり、想像力を膨らませながら遊んだりしている姿をみて、“木育”の良さを改めて感じる事ができた。